

令和7年3月5日

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	千代田区立千代田幼稚園
所在地	千代田区神田司町2-16

1. 活動のテーマ

<テーマ>

第1回 パンプキンを作ろう
第2回 紅葉の枝

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)
身近な教材を使う中で、素材の組み合わせを考えたり、自分なりにイメージしたりすることを楽しんでほしい。

2. 活動スケジュール

10月29日(火) 9時20分から40分ごとに3学年を3グループに分けて実施
11月28日(木) 9時20分から50分ごとに3学年を3グループに分けて実施

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備した素材】

新聞紙、色画用紙、薄葉紙、モール、シール、クレップ紙、両面テープ、ラピーテープ、色和紙、障子紙 など

【道具】

糊、はさみ、絵の具

【環境】

ホールにテーブル2台を合わせたものを何か所か準備する。
20名ほどの異年齢のグループを作り、時間ごとに取り組む。

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

第1回

- 大きな紙を丸める、包む、巻く、貼るなど、手先を使う活動を多く取り入れながら、製作する。
- 好きな色を選んだり、作りたい大きさに丸めたりしながら自分で考えた大きさのパンプキンを作る。
- できたものから周りの棚に飾る。
- まだ終わらない幼児、もっと作りたい幼児は別の場所で作れるように場を確保する。

第2回

- いろいろな色の絵の具で障子紙に好きなように描く
- 色和紙をちぎり、木の枝を作る
- 色画用紙に色和紙を貼る
- 絵の具を塗った障子紙で葉を切って貼る

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- 講師のを見ると、「作りたい!」という声が聞かれた。
- 作り方の説明も真剣な表情で聞いていた。
- 3歳児は立体の製作や絵の具の活動がほぼ初めだったため、戸惑う幼児もいた。
- 紙のちぎり方や貼り方など、説明と違うことをしたときに、「間違えちゃった」という幼児がいたが、講師は指摘せずにできたものを生かして作品ができるように促していた。
- 新聞紙を丸めただけで、「先生、こんなに大きいのにしちゃった!」と自慢げに見せる幼児もいた。
- 5歳児は出来上がった後、保育室で、自慢ポイントを発表し合う場面もあった。
- 絵の具を塗るときには、いろいろな色を楽しそうに塗ったり、時間をかけて仕上げたりする様子があった。

<活動の様子>

活動の様子が分かる写真を2枚以上貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5. 振り返り

（振り返りによって得た保育者の気づき）

- 自由度が高く、年齢に応じた作品ができた。
- 工程も負担なく、できたものが明確であったことが、幼児にとってわかりやすく、取り組みやすかった。
- 教師にとっては、もっと少人数だったらよかった。
- 失敗感がなかったことが大きな気づきであった。講師の説明と違っていても、それを生かした製作につながっていったことは、保育者にとって参考になった。
- できたものをすぐに展示することで、達成感や自己肯定感が高まると感じた。

以上